



九州大学北京事務所

メールマガジン

2009年第1号 (Vol.4 No.1)

目次

2009/2/28

○ トピックス

2009年度第1回「希平会」開催

北京事務所で留学生面接会 開催

九大企画部玉上部長ご一行 来所

九大企画部玉上部長ご一行が北京大学などを訪問

日本留学関係者意見交換会 開催

九大と縁がある卒業生の有名人Top10

○ 九大人

寧夏計量測試院高級工程師 楊繼光

○ 中日最前線

○ 教育コラム



編集代表者:九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏
発行:九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局
住所:〒100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号鑄誠大厦B座2008室
電話:+86-10-5158-1387 ファックス:+86-10-5158-1367
メール:peiking_office@yahoo.co.jp (日語)
kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)





九州大学北京事務所

トピックス

1

2009年度第1回「希平会」開催

2009年2月10日午後、2009年度第1回「希平会」が中国科学院文献情報中心JSPS北京事務所の会議室で開催されました。今回の会議では主に2009年度の希平会の活動計画等について討論しました。

各大学の北京事務所の責任者、大使館の代表者、人民網・日本語版の責任者及びゲストの福山大学の先生方が今回の会議に参加しました。参加者は希平会の「2009年度実施計画案」に合意し、計画案通りに活動することを決めました。また人民網・日本語版が「あつまれ！中国の日本人」という新規コラムについての知らせをしました。最後は各機関からの意見交換、情報交換は行われました。



2

北京事務所で留学生面接会開催

2月17日(火)午後、北京事務所にて、遠隔システムによる留学生面接会を行いました。今回の面接会は「国家建設高水平大学公派研究生項目」により、九州大学生物生命環境科学府に留学希望する中国農業大学と中国農業科学院の三人の学生を対象としています。九州大学農学研究院の先生方が遠隔システムを通して留学希望者に対して、自己紹介、研究計画の説明及び質疑回答などにより、学生の言語力、研究能力及び人柄などについて判断し、受け入れ可否を決定する予定です。

2009年度の中国の国家建設高水平大学公派研究生項目により、九州大学に留学申請する学生が2008年より大幅に増えました。今現在、九大北京事務所を通して申請した学生が既に150名以上に昇りました。審査に合格して入学内諾書を得た学生も100名程にちかづいています。



トピックス

3

九大企画部玉上部長ご一行 来所

2月20日(金)、九州大学の企画部玉上晃部長をはじめ、企画部企画課の中山高志課長補佐、工学部総務課の井芹邦昭庶務係長と国際交流推進室の松川耕三係長のご一行が北京事務所を訪れ、北京の大学訪問などについて打ち合わせしました後、九州大学の国際能力強化戦略などについて、宋敏所長と意見交換しました。



4

九大企画部玉上部長のご一行が北京大学等を訪問

2月20日(金)、九州大学の企画部玉上晃部長ご一行及び北京事務所の宋敏所長が北京航空航天大学と北京大学を訪問しました。今回の訪問の趣旨は日本の「アジア人財資金」プログラムを両大学の海外派遣留学の担当者に説明し理解を得て、また「留学生30万人計画」について、中国の大学としてはどのように思っているのかを尋ねるとのことです。

午前中、訪問団はまず北京航空航天大学に訪れ、同大学の国際交流合作処の馬進喜処長と呉曉潞副処長と会談しました。会談では、玉上部長は九大国際能力強化戦略の背景や具体的な対策などを紹介し、馬処長等と意見交換を行いました。両大学は大学国際化の強化に向けての協力強化を表明しました。

続いて午後2時に、訪問団は北京大学に着きました。北大の国際交流合作部の潘慶徳副部長、国際合作部交流プログラムオフィスの李洪権主任と馬嵐オフィサーは玉上部長のご一行と会談しました。特に日本の30万人留学生計画、及び両大学における学生交流の促進などについて意見交換を行いました。両方とも国際化の強化のためお互いに協力しあっていく必要性を強調しました。

午後4時、企画部玉上部長のご一行はJSPS北京研究連絡センターを訪問しました。玉上部長はJSPSの福西浩センター長と留学生政策、学術交流などについて幅広く意見交換をしました。





九州大学北京事務所

トピックス

5

日本留学関係者意見交換会 開催

2月27日(金)、国際交流基金北京日本文化センターにて、在中国日本国大使館主催する「日本留学関係者意見交換会」が行われました。

日本文部科学省学生交流室の江典宏室長、日本学生支援機構留学生事業計画課の吉野利雄課長及び各大学北京事務所の担当者などの留学関係者が会議に参加しました。会議ではまず江典宏学生交流室長は「留学生30万人計画」の背景、事業内容、施策などについて紹介しました。続いて、吉野利雄留学生事業計画課長は日本学生支援機構における留学生支援事業について説明しました。それから、各機関から質問回答や意見交流が行われました。



6

九大と縁がある卒業生の有名人Top10



「九州大学のアピールポイント10」は九大と縁がある卒業生の有名人Top10を発表しました。TOP10の中に中国人が3名挙げられています。

すなわち:

郭沫若

(九州帝国大学医学部卒業、中国科学院初任院長。)(1892-1978)

何偉

(医学研究専業卒業、何氏眼保健システム理事長、何氏眼科病院長何氏視学科学学院長と何氏眼科研究院長)

史寧中

(理学研究専業卒業、東北師範大学学長)。



■ 九 大 人 ■

楊繼光

☆☆☆☆☆

寧夏計量測試院

高級工程師

足 跡

1954年9月	北京生まれ
1974年7月	武漢大学 化学学部を卒業
1987年9月－1988年10月	九州大学工学部赴日本九州大学工学部応用化学専攻研修
1997年9月－1997年12月	高級訪問学者として再び九州大学に
1995年12月	高級工程師になる
1992年10月	中国計量測試学会化学專業計量委員会委員
2002年4月	中国管理科学研究院學術委員会特約研究員

絶えず努力さえすれば、必ず成功できます。



インタビュー

1. 九大に2回行ったことがありますね。20年前初めて九大に入り、10年ぶりにまた九大に訪れました。この2回の経験があり、どんな感慨をお持ちでしょうか。
そうですね。10年ぶりに九州大学に行って、やはり変化が大きいですね。九大は新しい学科が設けられ、速いスピードで発展され、日本ないし世界で有名な総合大学になりました。建物はもとの建物ですが、学生が一期一期卒業しました。当時同級生の何人かが九大で博士号を取得または准教授になり、学術におけるいい成績を上げました。
2. 2008年は非凡な一年とは言えますね。この一年間を振り返れば、感銘深いことはありませんか。
はい。確かに2008年は非凡な一年ですね。この一年を振り返れば、いろいろ経験があって、いろいろ感動がありました。まずは年初に起こった雪の災害で、チベット地区の不安定で、それから5・12汶川大地震です。5月12日、私はちょうど四川茂県、地震の中心地にいました。外と連絡が絶った何日間、自然の復讐と地震の怖さを身をもって感じました。それと同時に、中央政府が救災活動における指導のすばやさや正しさも、解放軍が苦勞をいとわなく力の限りを尽くして難民を助ける精神も、現地住民が困難を恐れず自らを救う勇気も、多くの称賛に値することは私を涙に咽ばせました。そして、2008北京オリンピック及びパラリンピックは円満的に行われ、「神州七号」有人宇宙船が飛行士の船外活動も成功を収めました。
それらのことは中国の強大な国力を雄弁に物語っています。経済発展の速度を速めてこそ、中華民族は世界の舞台に立脚することができ、国が富強になり、人民がいい生活を過ごせるということをしみじみ感じています。
3. 光陰矢のごとしの言うとおりでですね。退職してからの生活について考えたことがありますか。
そうですね。退職まではまだ何年間の時間がありますから、退職してからの生活についてはまだ考えたことがないです。でも、手がすいているといらいらする人間だから、退職になると、暫く休んでから、妻子をつれて旅行に出ると思います。チャンスがあれば、もう一度福岡に行きたいです。
私の日本語の基礎がいいですから、もし都合と身体の状況がよければ、日本語を教えたいですね。
4. 2011年は九大の百周年になります。九大の今後の発展について何か祝福の言葉がありますか。
それはめでたいことですね。九州大学はこの百年近くの間で様々の分野で実り多い成果をあげ、アジア及び世界各国の人材を養うことに多大な貢献をしました。これから、九州大学が多方面に渡ってより大きな発展をはかり、国際レベルの科学研究の成果をあげ、世界一流の大学になりますよう祈っております。





■ 中日最前線 ■

最新動き

中国、第三代携帯免許を発行 内需刺激策として期待

中国の工業情報化省は7日、第三代の携帯電話サービス免許を中国移动通信集団(チャイナモバイル)など3社に与えたと発表しました。中国の携帯加入件数は6億件を超え、世界1。第三代向けのネットワーク整備などには今後2—3年で2800億元(3兆8000億円)の投資が必要とされ、景気減速のなかで内需刺激策としての期待も受けています。

中国移动は中国独自開発の「TD—SCDMA」方式、中国電信集団(チャイナテレコム)はKDDIなどが採用している「CDMA2000」方式、中国聯合網絡通信集団(チャイナユニコム)はNTTドコモなどが使う「W—CDMA」方式の免許をそれぞれ取得しました。

<http://www.nikkei.co.jp/china/industry/index.aspx?n=AS2M0702M%207012009>

日中協会理事長、日曜中国語会で講演

日本僑報社主催の日曜中国語会が18日、第73回交流会および2009新春特別講演会を東京の池袋で行い、日中協会理事長の白西紳一郎氏をはじめ、多くの来賓が中日交流促進に向けた努力と成果、中日友好への期待を参加者60人余りと分かち合いました。



<http://j.people.com.cn/94475/6576902.html>

トレンドキャッチ

映画「おくりびと」

54年ぶり4度目のアカデミー賞受賞

第81回アカデミー賞の受賞作品が米国西部時間の22日発表され、滝田洋二郎監督の「おくりびと」が外国語映画賞を受賞しました。日本映画の受賞は54年ぶり4度目の快挙。日本の短編アニメ「つみきのいえ」も短編アニメ賞を受賞しました。「スラムドッグ\$ミリオネア」が予想通り8つの「オスカー」を獲得したのに対し、「おくりびと」の受賞は人々の予想を反し、今年のアカデミー賞最大のブラックホースとなりました。

アカデミー賞を受賞した「おくりびと」は一気に人気を呼び、今年5月に米国で公開予定のほか、30カ国近くで導入が検討されています。



今月のキーワード

第24回ユニバーシアード冬季大会

18日午後8時、ユニバーシアード冬季大会の開幕式がハ爾濱(ハルビン)国際会展体育センターで行われました。

今大会には45カ国・地域から過去最多の4000人以上が参加します。その内訳は、出場選手やコーチ、役員が2527人、大会技術役員と審判が1500人となっています。同時に13カ国・地域から招致団・広報団・視察団約250人が国際大学スポーツ連盟(FISU)関連の会議やイベントに参加します。

今大会では過去最多となる12競技81種目が行われ、中国初出場となる16種目を含む12競技すべてのテストがすでに完了しました。

この冬季大会は、中国が始めて行う世界レベルの総合的冬季スポーツ大会です。閉幕式は今年28日午後8時にメイン会場で行われ、ハルビン市が手がけたパフォーマンスが披露されます。



教育コラム

留学動向

帰国留学生、険しい就職への道のり 給与もダウン

今月11日に開かれた海外留学からの帰国者(帰国留学生)を対象とした就職説明会では、留学中の学生の家族の参加が目立ちました。いずれ帰国する我が子のために、今年の帰国留学生の給与水準を聞きに来たという親たちです。ある帰国留学生の職業プランの専門家によると、今年の給与水準は例年より20%ほど低く、求職者は希望条件を引き下げなければならぬという。

留学のために高額な費用がかかったが、金融危機の影響で、月収が非常に低くなってしまい、とても投資に見合うリターンとは思えません。「とりあえず就職してしばらく経験を積み、いずれは転職したい。」と考える留学生が多いです。

また、帰国留学生の多くが外資系企業や金融機関への就職を希望するが、数年前に大人気だったこれらの企業は昨年に世界金融危機の影響を受けたため、今年は採用の道を閉ざしている所がほとんどです。経済や管理などを学んだ帰国留学生は過剰傾向にあり、競争がますます激しくなっています。

<http://j.people.com.cn/94475/6576833.html>

中国教育

「中長期教育改革発展プラン綱要」教育に3問題

制定作業が進められている「国家中長期教育改革・発展プラン綱要」は7日、社会各界に対し公開で意見を求めました。同綱要の制定で戦略的専門テーマの研究を担当する河北省教育庁の韓清林・巡視員は取材に応える中で「長年にわたり、中国の教育の問題点は主に次の3方面に現れてきた」と指摘し、次のように述べました。

第一の問題は入学に関するものです。都市部に暮らす出稼ぎ農民労働者の子ども達や親が出稼ぎに行っている農村の留守番児童の入学問題は引き続き深刻です。

第二の問題は教育の質に関するものです。「綱要」が解決をはかろうとする重要な中心的課題です。現在、教育全体の発展形態が規模の拡大から質の向上という新たな段階に突入しつつあり、この段階では多くの重要問題に直面することになります。

第三の問題は生徒・学生の卒業後の進路や就職の問題です。学校教育で生徒・学生にしっかりした就業能力を身につけさせることができるかどうかは、経済社会の発展を促進し、国民の生活水準向上のニーズを満たせるかどうかに関わる重要な問題です。

http://japanese.china.org.cn/life/txt/2009-01/09/content_17081955.htm

情報カレンダー

- 09.02.02 海外のハイレベル人材、1千人導入計画
http://japanese.china.org.cn/life/txt/2009-02/02/content_17212341.htm
- 09.02.10 学費の高い大学ランキング 首位はワシントン大学
<http://j.peopledaily.com.cn/95952/6589530.html>
- 09.02.11 中国 高等教育機関19校を新設
<http://j.peopledaily.com.cn/95952/6590116.html>
- 09.02.16 2009年度日本日研、教研奨学金プログラム
<http://www.csc.edu.cn/Chuguo/e4e9c6735d1745429fbf12a7795ec01b.shtml>
- 09.02.20 「中国国際教育巡回展」が近く開幕
<http://j.peopledaily.com.cn/95952/6597775.html>
- 09.02.26 中国、初の国家基準推進で母国語強化へ
<http://j.peopledaily.com.cn/95952/6601679.html>

ランキング

医学は国が強くなる科学です。医学は生命基礎医学、免疫学、臨床医学と医学技術、歯科口腔外科学、漢方学、法医学、薬理学、看護学などの八つの学科からなり、16つの学部専攻を含んでいます。2007年、全国で198所の大学は医学部を開設しています。

- 1位 清華大学
- 2位 北京大学
- 3位 復旦大学
- 4位 上海交通大学
- 5位 中山大学
- 6位 浙江大学
- 7位 華中科技大学
- 8位 四川大学
- 9位 首都医科大学
- 10位 中南大学

<http://edu.qq.com/a/20080227/000201.htm>